

防災さんぽのまとめ

気づいたこと



歩道に段差がある箇所があり、つまづきに注意する必要がある。



T字路など見通しがきかない箇所があり注意が必要と感じた。



空き家が多数あり、今後も増えていくと思う。



道路沿いに高いブロック塀が多くみられた。



道路(歩道)上に看板や雨どい、垣根がはみ出しているところがある。



六郷堀周辺の道路が川の方に傾斜していて危険。

感想・その他意見

大人の目線だけでなく、子どもの目線からも見れるといいと思う。

多数の人で見ると色々な問題があるとわかり、有意義だった。

道路幅が狭く、歩道が整備されていない箇所があり、車と歩行者がすれ違うのが心配。

公園等の子供の遊び場が欲しい。

日頃、あまり意識せずに歩いていたと感じる。

家族での点検、危険箇所などの情報共有も必要と感じた。

街路灯が少なく、防犯上も不安がある。

電柱が斜めに傾いている箇所があった。

空き地が多く、草や木等の管理に不安がある。

夜の防災さんぽも面白いと思う。

宮城の萩大通りの横断歩道の待ち時間が長い。

道路側溝が落ち葉等で詰まっているところがある。

みんなに伝えたいこと

- 子供たちにブロック塀のそばを歩かないよう声掛けする必要がある。
- 常日頃から危険を意識することも大事。家族で危険箇所の確認を。
- 「目配り・気配り・心配り」が大切。
- 普段何気なく歩いているが、足元に気を付けること、頭上にも目をやるのが大切だと感じた。
- 堀に沿って坂道になっており道幅も狭いので、近くを歩く際は注意が必要。
- 大雨時、六郷堀は増水するので注意が必要。
- ご近所どうしのコミュニケーションも大事。



体験版

防災さんぽ報告書

— 南小泉町内会編 (古城ブロック) —
(仙台市若林区)

日時 2023年2月25日(土) 9:30~12:00

場所 南小泉町内会古城ブロック内の道路

参加者 南小泉町内会(役員、防犯防災部、婦人防火クラブ)、南小泉子供会、古城子供会、若林区役所(公園課、道路課、街並み形成課)、都市整備局建築指導課 合計34名

防災さんぽとは…

「防災さんぽ」は普段利用している近所の道をみんなで歩き、地震発生時等に倒壊の心配があるブロック塀や落下の心配がある屋根瓦等がないか等、安全に避難や通行ができるか道の状況を確認するものです。防災さんぽを通じて生まれた気づきや感想を様々な立場の参加者同士が話し合い、情報を共有することで、地域の防災・減災意識の向上を図ることを目的としたものです。

今回、この取り組みを広く知っていただくため、区役所の主催で町内会役員向けに体験版防災さんぽを実施しました。

防災さんぽのプログラム

①さんぽ

- ・3班に分かれて、まち歩きをしながら気になる箇所を確認しました。
- ・町内会の方が測定棒を持って積極的に実測調査を行いました。



②まとめ

- ・まち歩きした内容を班ごとに話し合い、発表用資料にまとめました。
- ・他の参加者の発言により新たな「気づき」があり、うなずく場面もありました。



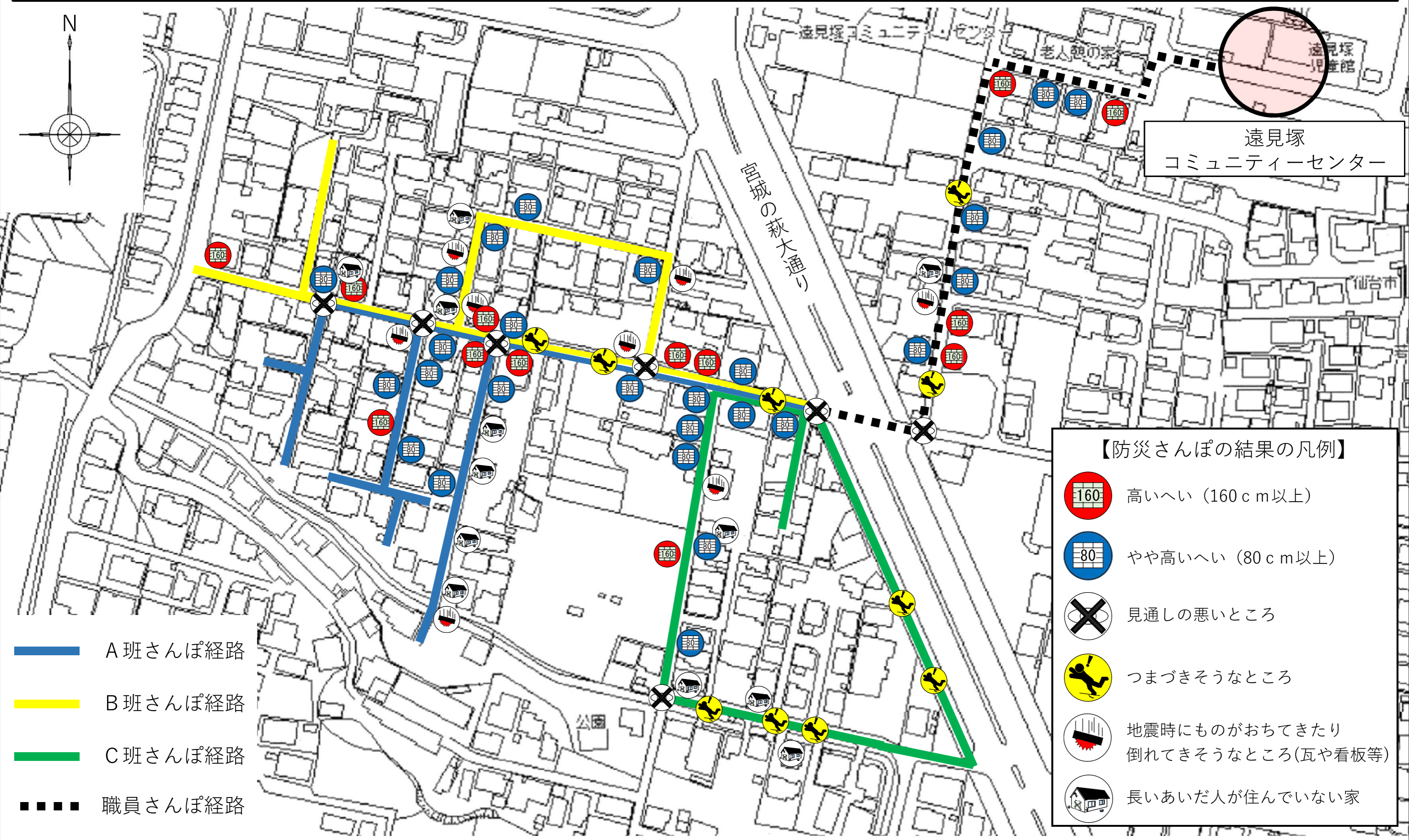
③発表

- ・町内会の方が積極的に発表し、各班とも素晴らしい発表でした。
- ・発表を聞いている人も「いいね!」や「なるほど!」など、うちわを使って発表者に気持ちを伝えることにより、会場全体で「気づき」を共有しました。
- ・区役所の職員も、行政の立場で事前に防災さんぽを行い、「気づき」などを発表しました。



防災さんぽ結果マップ南小泉町内会編 古城ブロック

(令和5年2月25日時点)



※このマップは危険性を判断しているものではありません。
※このマップは当時の状況を示したものです。その後改善されている箇所もあります。